

## 議 事 録 確 認

2016年度「ライフサイクルの深度化」に基づく異動及び、復帰に関する申し入れの交渉経過において、別紙のとおり確認した。

平成 29 年 2 月 10 日

東日本旅客鉄道株式会社大宮支社  
総務部 勤労課長 原 潔



東日本旅客鉄道労働組合大宮地方本部  
業 務 部 長 高橋 孝



[別 紙]

- (組 合) 南浦和駅の輸送職への下位職充当の解消に向け、職制に応じて従事できる適正要員を配置すること。また、駅業務に従事するプロフェッショナル採用社員についても、駅業務の担い手として計画的に育成すること。
- (会 社) 「ライフサイクルの深度化」については、覚書等を踏まえ進めてきているところである。なお、輸送職等の技術継承については、箇所の要員事情等も勘案し育成していく考えである。
- (組 合) 大宮駅において、協約及びこの間の労使議論から逸脱していると受け取れる事象が発生したため、交渉経過について周知徹底し再発防止すること。
- (会 社) 異動については、面談等により社員の希望等を把握するとともに、任用の基準に則り実施していく考えであり、施策の主旨については引き続き周知していく。
- (組 合) ライフサイクルの深度化制度運用において、他支社でライフサイクル途中で支社への異動や、EL 転換中に駅への異動が発生している事象などの課題を一致し、組合員の不安を解消し制度の更なる定着に取り組むこと。
- (会 社) 「ライフサイクルの深度化」については、覚書に則り社員運用をおこなってきたものであり、今後も覚書等を踏まえた制度の定着に取り組んでいく考えである。
- (組 合) 実施後に問題点が発生した時は速やかに改善に向けて取り組むこと。
- (会 社) 問題は生じないと考えているが、具体的に提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（平成 27 年 10 月 1 日締結）」に則り取り扱っていく。